

手洗い用の電気温水器は、冬以外は電源を切りましょう。

手洗い用の電気温水器は、冬以外の不使用時に電源を切ることで、省エネを図ります。

対策例

コントローラーの省エネ・節電機能による運転停止期間の設定

- ・お湯が必要でない夏場の運転を休止します。

運転停止設定可能月(例)



(設定例1)



6月開始→9月終了

(設定例2)



8月開始→8月終了

省エネ対策のポイント

- ・運転停止期間終了後は、自動で通常の温水器モードに戻ります。
- ・運転停止期間設定の可否については、温水器メーカーへご確認ください。

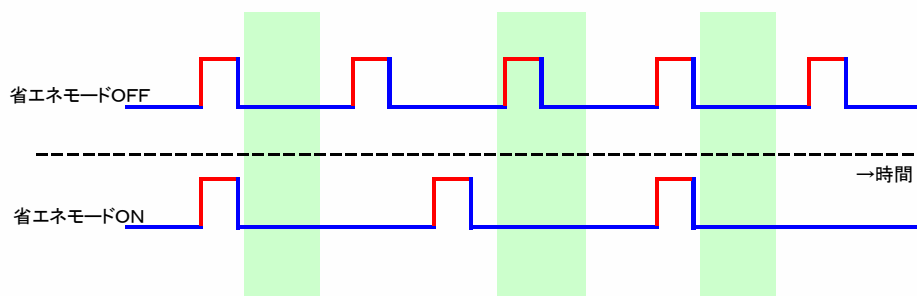
参考

<手洗い用電気温水器に有効な省エネ対策例>

○省エネモード運転による節電

過去2週間程度の給湯パターンを学習し、最も効率の良い通電を行うことで消費電力量を抑えます。

省エネモード(例) — 沸かし上げON お湯がよく使われる時間帯
— 沸かし上げOFF



温水器の利用可能な運転モード等については、温水器メーカーへご確認ください

○通電時間を短くすることによる節電

温度調節タイマーを装備している温水器は、早めの時間にOFFにすることで、無駄な沸かし上げを減らし、電力使用量を抑えることが可能です。ただし、実施の際は、メーカーへの確認が必要です。